

青空の日が続いていますが、もう**黄砂飛来**のニュースが飛び込んできました。そのニュースを聞いただけで、もやっとした光景が頭に浮かんできました。

今週は軌道に乗せる大切な週。「どの先生も先を見通して、**視界がぼやけないように**気を引き締めて」と切に思いました。



1・2年生は県警第二交通機動隊の白バイ隊員で構成する自転車対策小隊「**B-Force**」による交通教室を行いました。

入学式前日の準備の日から、すでに新2・3年生には交通安全意識を高める話を交通担当者がしてきました。

全員が自転車通学であり、いのちを危険から守るために、これまで何度も安全指導をしてきました。

しかし、まだ十分とは言えません。自分は大丈夫だという過信や、自分には関係ないと他人事で考えている子もゼロとは言えません。

今週は7:40から教職員がいろいろな場所に立って、安全を見守っています。場所によっては地域の方に職員の見守りを一定時間お願いすることになりますが、依頼の電話をすると、どの方も快く「いつでもどうぞ」と言ってくださります。

私は早朝生徒用通用門の横断歩道に立たせていただいて4年目になります。通勤時間と重なり、だいたい同じ人が車で通りすぎていきます。4年目になるとお名前は知らないのに、頭を下げて下さる方や、手を上げて「おはよう！」の合図をして下さる方もいます。なかには必ず窓を開けて「おはよう」と言ってくださる地域の方までも。



逆にしばらく車で通るのを見かけなくなった御年配の方もみえ、どうされているのか気になったりもします。

例年これからの時期、自転車通学に慣れていない1年生は、ゴムひもがタイヤに絡んだり、田んぼに落ちてしまったりといろいろなことが起きます。

なんとしても交通事故には遭わないように、学校での交通安全指導を心がけていきますので、保護者の方、地域の方も、もし、危ない乗り方を見つけられたりヒヤッとしたことがある場合はその場で直接注意していただいたり、学校に連絡していただきたいです。